



# 平成29年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月12日

上場取引所 東

上場会社名 サトウ食品工業株式会社(登記社名:佐藤食品工業株式会社)

コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 近藤 充

TEL 025-275-1100

四半期報告書提出予定日 平成28年12月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年4月期第2四半期の連結業績(平成28年5月1日～平成28年10月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第2四半期	12,594	6.1	△238	—	△186	—	△139	—
28年4月期第2四半期	11,872	—	△341	—	△254	—	△244	—

(注) 包括利益 29年4月期第2四半期 △36百万円 (—%) 28年4月期第2四半期 △181百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第2四半期	△28.99	—
28年4月期第2四半期	△50.89	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年4月期第2四半期	33,040	10,432	31.6
28年4月期	27,928	10,584	37.9

(参考) 自己資本 29年4月期第2四半期 10,432百万円 28年4月期 10,584百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	0.00	—	24.00	24.00
29年4月期	—	0.00	—	—	—
29年4月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年4月期の連結業績予想(平成28年5月1日～平成29年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,600	3.9	1,240	4.5	1,260	△5.0	820	3.3	170.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年4月期2Q	5,075,500 株	28年4月期	5,075,500 株
② 期末自己株式数	29年4月期2Q	271,211 株	28年4月期	271,192 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年4月期2Q	4,804,294 株	28年4月期2Q	4,804,322 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日において当社グループが判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年5月1日から平成28年10月31日まで)におけるわが国経済は、政府の財政政策や日銀の金融政策を背景に、企業収益の改善や雇用情勢の持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調となりましたが、円高傾向が続く中、新興国の景気減速や英国のEU離脱問題など不安定要素の世界経済への影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような中、当社グループは、安全・安心かつおいしさの追求に重点をおいた包装米飯び包装餅の適正価格での安定供給に努めることを基本に、お客様の消費動向を捉えながら多様化するニーズに対応した販売活動を行ってまいりました。

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、製品分類別における販売の動向は以下のとおりであります。

包装米飯製品では、新たな販路拡大の取り組みとして、沖縄地区限定で沖縄のお中元文化に対応した贈答用アイテムをラインナップに加えるとともに、石垣島出身のエンタメユニット「きいやま商店」を起用したテレビCMを放映いたしました。さらに、2人でシェアする食シーンを提案した商品として「サトウのごはん かる〜く二膳」、レンジアップして冷ますと塩味のおにぎりが簡単に作れる「サトウのおにぎり用 塩ごはん」を9月に発売するとともに、今年もJA各県本部との共同企画として地域の特産品が当たる販促キャンペーン等販売促進に取り組みました。また、日本古来の炊飯方法を忠実に再現した独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てごはんを再現できることに加え、製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることがお客様の利便性及び安全・安心意識にそれぞれマッチし、堅調に推移いたしました。その結果、包装米飯製品の売上高81億80百万円(同5.8%増)となりました。

包装餅製品では、当社と大手資材メーカーが共同開発した業界初となる「ながモチフィルム」(酸素吸収機能をもつ透明な個包装フィルム)を、当社グループの包装餅製品へ全面的に導入して賞味期限を24ヶ月に延長したことに加え、同フィルムの機能性向上をアピールするテレビCMの放映等により、当社子会社である株式会社きむら食品とのシナジー効果を最大限生かすべく販売促進に取り組みました。また、少子高齢化等の社会構造の変化による食生活スタイルの多様化、個別化に伴う新しい食シーン提案型商品として、スティックタイプの切り餅である「サトウの切り餅 いっぽん」の配荷拡大に取り組みました。その結果、包装餅製品の売上高は43億90百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高はその他23百万円(25.1%減)を加えた125億94百万円(同6.1%増)となり、営業損失は2億38百万円(前年同四半期営業損失3億41百万円)、受取手数料(営業外収益のその他)が前年同四半期に比較し減少したこと、経常損失は1億86百万円(同経常損失2億54百万円)となりました。また、特別損失において当四半期に減損損失の計上がないことから親会社株主に帰属する四半期純損失は1億39百万円(同親会社株主に帰属する四半期純損失2億44百万円)となりました。

なお、当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産・負債及び純資産の分析

##### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は330億40百万円となり、前連結会計年度末に比較し51億12百万円増加いたしました。これは、原材料及び貯蔵品(前連結会計年度末比16億58百万円減)並びに仕掛品(同5億3百万円減)は減少したものの、受取手形及び売掛金(同11億9百万円増)、商品及び製品(同44億76百万円増)並びに機械装置及び運搬具(同15億6百万円増)の増加が主な要因となっております。なお、機械装置及び運搬具の増加は、主に東港工場包装米飯製造ライン新設に伴うものであります。

##### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は226億7百万円となり、前連結会計年度末に比較し52億64百万円増加いたしました。これは、運転資金としての短期借入金(前連結会計年度末比55億20百万円増)の増加が主な要因となっております。

##### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は104億32百万円となり、前連結会計年度末に比較し1億51百万円減少いたしました。これは、その他有価証券評価差額金(前連結会計年度末比85百万円増)は増加したものの、配当金の支払及び当第2四半期純損失による利益剰余金(同2億54百万円減)の減少が主な要因となっております。

② キャッシュ・フローの分析

営業活動の結果支出した資金は30億23百万円(前年同四半期比24億69百万円増)となりました。

これは、たな卸資産の増加額14億18百万円及び仕入債務の減少額7億6百万円、並びに法人税等の支払額3億48百万円が増加したことにより支出した資金の増加が主なものとなっております。

投資活動の結果支出した資金は23億14百万円(前年同四半期比15億73百万円増)となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出の増加額15億83百万円が主なものとなっております。なお、有形固定資産の取得による支出は、東港工場包装米飯製造ライン新設に伴う支出7億31百万円、本社新社屋の建設に係る既支払額4億7百万円が主なものであります。

財務活動の結果得られた資金は51億61百万円(前年同四半期比36億37百万円増)となりました。

これは、長期借入れによる収入が12億円減少したものの、運転資金としての短期借入金純増額50億70百万円が主なものとなっております。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期会計期間末残高は1億45百万円(前年同四半期比2億64百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月13日に公表いたしました平成29年4月期第2四半期累計期間(平成28年5月1日～平成28年10月31日)の業績予想値と、本日公開の実績値に差異が生じました。詳細につきましては、本日公表の「平成29年4月期第2四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、通期(平成28年5月1日～平成29年4月30日)の業績予想につきましては、現時点では変更ありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,085,809	1,909,100
受取手形及び売掛金	5,550,738	6,660,165
商品及び製品	849,932	5,326,931
仕掛品	999,879	496,709
原材料及び貯蔵品	3,997,501	2,339,078
その他	249,361	736,883
貸倒引当金	△4,490	△5,530
流動資産合計	13,728,731	17,463,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,692,244	2,753,239
機械装置及び運搬具(純額)	3,886,797	5,393,407
土地	2,347,426	2,347,426
その他(純額)	1,234,091	955,769
有形固定資産合計	10,160,558	11,449,842
無形固定資産	114,074	101,039
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	2,610,706	2,596,028
その他	1,329,875	1,447,369
貸倒引当金	△25,190	△25,190
投資その他の資産合計	3,915,392	4,018,207
固定資産合計	14,190,025	15,569,089
繰延資産	10,090	8,433
資産合計	27,928,848	33,040,861

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,057,377	1,395,690
短期借入金	680,000	6,200,000
賞与引当金	321,166	474,163
その他	6,267,321	5,704,999
流動負債合計	8,325,865	13,774,852
固定負債		
社債	632,000	615,000
長期借入金	6,732,092	6,571,775
引当金	74,466	75,966
退職給付に係る負債	1,112,381	1,079,436
その他	467,117	490,893
固定負債合計	9,018,058	8,833,071
負債合計	17,343,923	22,607,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	9,627,813	9,373,211
自己株式	△306,108	△306,176
株主資本合計	10,371,479	10,116,809
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	520,475	605,534
退職給付に係る調整累計額	△307,030	△289,407
その他の包括利益累計額合計	213,445	316,127
純資産合計	10,584,924	10,432,937
負債純資産合計	27,928,848	33,040,861

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
売上高	11,872,427	12,594,006
売上原価	7,534,799	7,939,879
売上総利益	4,337,628	4,654,126
販売費及び一般管理費	4,679,153	4,892,735
営業損失(△)	△341,525	△238,608
営業外収益		
受取利息	339	198
受取配当金	7,687	7,851
受取賃貸料	99,296	93,876
その他	136,953	97,973
営業外収益合計	244,277	199,899
営業外費用		
支払利息	58,171	42,811
賃貸費用	48,642	50,124
固定資産除却損	20,685	33,698
その他	30,073	21,373
営業外費用合計	157,573	148,008
経常損失(△)	△254,821	△186,717
特別損失		
減損損失	76,939	—
特別損失合計	76,939	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△331,761	△186,717
法人税、住民税及び事業税	38,376	55,810
法人税等調整額	△125,668	△103,228
法人税等合計	△87,291	△47,418
四半期純損失(△)	△244,469	△139,298
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△244,469	△139,298

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
四半期純損失(△)	△244,469	△139,298
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,049	85,059
退職給付に係る調整額	9,324	17,623
その他の包括利益合計	63,373	102,682
四半期包括利益	△181,095	△36,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△181,095	△36,616
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△331,761	△186,717
減価償却費	574,380	720,553
減損損失	76,939	—
のれん償却額	10,658	10,658
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,280	1,040
賞与引当金の増減額(△は減少)	122,764	152,996
受取利息及び受取配当金	△8,026	△8,049
支払利息及び社債利息	58,171	42,811
有形固定資産除却損	20,685	33,698
売上債権の増減額(△は増加)	△1,470,940	△1,109,427
たな卸資産の増減額(△は増加)	△896,540	△2,315,406
仕入債務の増減額(△は減少)	1,044,465	338,313
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,749	1,500
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,440	△23,520
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,723	△7,515
未収消費税等の増減額(△は増加)	△43,530	△307,208
未払消費税等の増減額(△は減少)	△523,502	△250,279
その他	900,548	305,181
小計	△480,821	△2,601,371
法人税等の支払額	△73,470	△422,351
営業活動によるキャッシュ・フロー	△554,291	△3,023,723
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息及び配当金の受取額	8,030	8,117
有形固定資産の取得による支出	△732,405	△2,315,839
有形固定資産の除却による支出	△38,156	△21,748
その他	21,677	14,750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△740,853	△2,314,719
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	450,000	5,520,000
長期借入れによる収入	2,300,000	1,100,000
長期借入金の返済による支出	△1,021,597	△1,249,207
社債の償還による支出	△17,000	△17,000
リース債務の返済による支出	△23,982	△24,786
利息の支払額	△57,806	△55,083
自己株式の取得による支出	△99	△68
配当金の支払額	△105,644	△112,313
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,523,870	5,161,541
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	228,724	△176,901
現金及び現金同等物の期首残高	180,513	322,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	409,238	145,138

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。